



花束を手にする岩井監督(左)と松本監督

映画「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」

特別上映会に岩井監督が登場

23年前の飯岡地区を中心にロケが行われた映画「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」の特別上映会が2月17日、サンモールシネマで行われました。当日は小中学生の親子連れを中心に約100人が参加し、岩井俊二監督や現役女子大生の松本花奈監督のトークショーも行われました。この映画のメガホンを取った岩井監督は「飯岡の景色が気に入って映画のロケ地を選んだ。旭市のロケーションは素晴らしいので、東京から映画スタッフが来たら仲良くしてほしい」と話しました。

第14回防火ポスター展

防火ポスター最優秀作品を発表

火災予防の重要性や必要性を広く知ってもらうことを目的に、防火ポスター展が開催されました。各小中学校から寄せられた178点の作品の中から、石田栞郁さん(共和小・4年)、菅谷柚音さん(中和小・5年)、石毛一葉さん(一中・1年)、宮倉茜音さん(二中・2年)が最優秀作品(旭市長賞)に選ばれ、3月1日に賞状が贈られました。



左から宮倉さん、菅谷さん、石田さん、石毛さん

3月3日 津波避難訓練に756人が参加

房総半島東方沖を震源とする大地震の影響により、市内に10mの津波が押し寄せてくるという想定で、海岸地域を中心に津波避難訓練が実施されました。午前9時に防災行政無線から緊急地震速報が発表されると、参加者は市内に25か所ある、津波避難タワーなどの津波避難拠点に避難しました。



日の出山公園の築山に上る避難者

3月2日 学び助成金 旭3S活動児童生徒が成果を発表



発表をする三川小の児童

社会的貢献を目的とした活動を応援するために、助成金を提供する「旭・学び助成金」の報告会が、東総文化会館で開催されました。当日は市内12の小中高生が参加し、1年間の活動成果を発表しました。参加した児童の一人は「自分の地区がきれいになると、とてもうれしい」と話しました。

3月1日 二人の特別な思い出にオリジナル婚姻届を配布

婚姻届の提出が特別な思い出になるようにと、あさピーのイラストとメッセージが記載された「オリジナル婚姻届」の配布が始まりました。市ではこのほか「オリジナル出生届」も用意。市民生活課や各支所で受け取れるほか、市ホームページからもダウンロードできます。



オリジナル婚姻届を手に笑顔の夫婦(3月5日)



旭市のさまざまな情報を
Facebookで公開しています。
旭市 フェイスブック

検索



あさひ 見聞録

けん ぶん ろく

東日本大震災八周年 千葉県・旭市合同追悼式など

鎮魂の祈り 後世に伝える決意新たに

東日本大震災から8年を迎えた3月11日、いいおかユートピアセンターで県と市の合同追悼式が行われ、犠牲者の冥福を祈りました。式では被災地などで復興活動続ける、県立旭農業高等学校の金賀沙唯さんが作文を朗読。慰霊塔の前で震災の教訓を後世に語り継ぐ決意を語りました。

防災資料館では市民団体による「3・11を継承する集い」が開催。復興を願う音楽や紙芝居が披露されたほか、地震と津波が発生した時刻には鎮魂の祈りがささげられました。



①

- ①風船に復興の願いを込める(3・11を継承する集い)
- ②祭壇に献花を手向ける(合同追悼式)
- ③作文を朗読した金賀さん(合同追悼式)



③



②

2月 飯岡地域で謎解き探検 24日 2,100人が宝さがし



宝箱を見つけた参加者

謎を解いて隠された宝箱を探し、そこに書かれたキーワードを集めるイベント「リアル宝さがし」が飯岡地域で開催。宝箱を探すヒントを手に、飯岡灯台やまち中を探索した参加者は「宝箱を見つけた瞬間はうれしかった」と話していました。報告会では参加者に抽選で賞品が贈られました。

2月 川口資源保全会が 22日 関東農政局長表彰を受賞

平成18年度から川口沼親水公園とその周辺で、農道や水路の維持管理、遊休農地の解消、環境保全などに取り組んできた、川口資源保全会が市長を訪問。長年の取り組みが認められ、平成30年度多面的機能発揮促進事業関東農政局長表彰の優秀賞を受賞したことを報告しました。



受賞を報告した会の役員

2月 海への思い言葉に込め 17日 未来へつなぐ



高橋順子賞に選ばれた「楽しい運動会」

東日本大震災を語り継ごうと創設された、旭いいおか文芸賞「海へ」の本審査が東総文化会館で開催されました。県内外から応募のあった1,598点の作品の中から、予備審査を通過した27組が朗読を発表。大賞の高橋順子賞には、東庄町立橋小の3年生5人による「楽しい運動会」が選ばれました。